

0 大和 右投右打 / 177cm68kg
29歳11年目 / 05・高4巡目
樟南高(甲)

外野手 マエダ・ヤマト(前田 大和)

長距離タイプ

対応タイプ

読みタイプ

確実タイプ

守備力 B / 走塁力 A

●昨年の成績
123試合249打56安12点
OHR5盗塁 打率.225

活躍予想 竹→

★W / 内外野ともに好手が光るユーティリティープレーヤー。昨年は先発した65試合のうち二塁手として34試合、三塁手として1試合、中堅手として30試合でスタメン出場。どこを守っても守備範囲が広く、安心して任せられる。★G / 代打では10打数5安打の打率5割、2打点と結果を残した。★B / 真すぐに力負けするところがあり、2割4厘しか打っていない。守備は素晴らしいが、攻撃的なオーダーを組む際には外される可能性がある。

8 福留 孝介 右投左打 / 182cm94kg
39歳13年目 / 98-1位

外野手 フクドメ・コウスケ

長距離タイプ

対応タイプ

読みタイプ

確実タイプ

守備力 C / 走塁力 B

●昨年の成績
140試合495打139安76点
20HR1盗塁 打率.281

活躍予想 松↓

★W / 強打の外野手。昨年はホームランと打点でチームトップを記録。同点時に9本の本塁打を放ち、勝負強さを見せつけた。ゴメスが不調に陥った時には15試合で4番を任せられ、その際には打率.339、1本塁打と結果を残している。★G / ストライクゾーンの球に対し、13年は.250の6本、14年は.270の8本だったが、昨季は.310の18本。打つべき球をきっちり打った。★B / 内角球を.156しか打てていない。内側のさばきをしっかりと。

25 江越 大賀 右投右打 / 182cm83kg
23歳2年目 / 14-3位
長崎・海星高→駒澤大

外野手 エゴシ・タイガ

長距離タイプ

対応タイプ

読みタイプ

確実タイプ

守備力 B / 走塁力 B

●昨年の成績
56試合168打36安16点
5HR2盗塁 打率.214

活躍予想 竹→

★W / ブレイクに期待したい若手のホープ。昨季はルーキーイヤーながら開幕1軍を勝ち取り、シーズンスタートで46試合に先発出場した。今季は外野の一角を占める存在になりたい。★G / ストライクゾーンの球に打率.327、5本塁打と、打つべきボールはしっかり仕留めていた。★B / 打ちたい一心でどんな球でも追いかけるところがあり、ボールズイング率は37.9%もあった。ここを我慢できれば打率も上がり、定位位置が獲れるはずだ。

60 中谷 将大 右投右打 / 187cm88kg
23歳6年目 / 10-3位
福工大城東高

外野手 ナカタニ・マサヒロ

長距離タイプ

対応タイプ

読みタイプ

確実タイプ

守備力 B / 走塁力 C

●昨年の成績
11試合111打20点
OHR0盗塁 打率.182

活躍予想 梅→

★W / 控え外野手。昨季は11試合に出て、3試合でスタメン起用された。5月9日の広島戦ではプロ初ヒットを放っている。ファームでは94試合に出場して規定打席に到達。打率.290、9本塁打、40打点という成績をおさめ、ファーム優秀選手賞を受けた。★G / センター中心の打撃。全打球の62%が中方向への当たりだった。★B / 振りたい、打ちたいの気持ちが強く、ボールズイング率は43.8%もある。打てる球をしっかりと見極めたい。



24 横田 慎太郎 左投左打 / 186cm92kg
21歳3年目 / 13-2位
鹿児島実高

外野手 ヨコタ・シントロウ

長距離タイプ

対応タイプ

読みタイプ

確実タイプ

守備力 C / 走塁力 B

●昨年の成績
(2軍)103試合347打74安36点
9HR9盗塁 打率.213

活躍予想 梅↑

★W / 糸井嘉男(オリックス)級のポテンシャルを秘めた次代の主砲候補。昨季はウエスタンでチーム2位となる9本塁打をマーク。50mを6秒1で駆け抜ける俊足の持ち主でもある。父親はロッテなどで外野手として活躍した横田真之。★G / いかにも長距離打者らしい深いトップ。逆方向のスタンドに叩き込める源でもある。★A / ミート力の向上が、そのままホームラン増に直結するタイプ。ミスショットを減らすべく、脱力を意識した1年に。

51 伊藤 隼太 右投左打 / 177cm83kg
27歳5年目 / 11-1位
中京大中京高→慶應義塾大

外野手 イトウ・ハヤタ

長距離タイプ

対応タイプ

読みタイプ

確実タイプ

守備力 B / 走塁力 C

●昨年の成績
63試合135打34安12点
2HR0盗塁 打率.252

活躍予想 竹↓

★W / 外野のレギュラー候補。昨年は6月に左手親指を痛め、2カ月あまり2軍へ。それでも自己最多となる63試合に出場し、38試合でスタメンに名を運んだ。同タイプの高山が加入しただけに、それを発奮材料にした。★G / 代打では21回起用され、19打数6安打、1本塁打2打点の打率.316と結果を残した。★B / ファーストストライクスイング率は54.4%と高いが、その際の打率は、14年の.438から.290へと下降。しっかりと仕留めたい。

東京ヤクルトスワローズ

読売ジャイアンツ

阪神タイガース

広島東洋カープ

中日ドラゴンズ

横浜DeNAベイスターズ